

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	2016/6/6	連携先名称	対馬市役所
活動状況	継続中	連携先窓口	対馬市しまの力創生課 前田 剛
活動資金	自治体予算	担当教員(所属)	内野昌孝(分子微生物学科)
活動体制(単位)	個人	関連教員(所属)	岡大貴(農芸化学科)
活動内容	<p>①対馬市からの委託事業の実施                  対馬市より依頼を受け、地域の発酵食品の大規模生産に関わるプロジェクトに参加している(添付資料)。対馬の固有食文化である「せん」について、東京農業大学が開発した速醸技術及び同大学の知見・指導を得ながら、せんだんごの生産にかかるコストの省力化・効率化(約3ヶ月→2週間程度に短縮)を図るとともに、災害用保存食等の新商品を開発することで、せんの生産性・経済性を高め、せん文化の保存・継承・担い手確保に資する。</p> <p>②対馬学フォーラムへの参加                  毎年12月に開催される対馬学フォーラムに参加し、大学紹介ブースにて大学紹介を行うとともに、学生によりポスター発表を行った。</p>		
活動成果	<p>①対馬市からの委託事業の実施                  いくつかの試験を行い、方向性が見えてきたため引き続き事業の継続を進める(写真1)。</p> <p>②対馬学フォーラムへの参加                  大学紹介ブースに数十人の学生などが来て、実験などを通じて大学の理解を深めてもらった。また、ポスター発表は多くの人に対して好評であった(写真2)。</p>		
課題・改善点	<p>①対馬市からの委託事業の実施                  予算規模の拡大や原料調達面で課題あり</p> <p>②対馬学フォーラムへの参加                  遠方のため、学生の参加費用の捻出に対して考えねばならない</p>		



# “せんだんご”省力化生産実証事業(案)

2019/5/31

対馬市しまの力創生課

対馬の固有食文化である「せん」について、東京農業大学が開発した速醸技術及び同大学の知見・指導を得ながら、せんだんごの生産にかかるコストの省力化・効率化(約3ヶ月→2週間程度に短縮)を図るとともに、災害用保存食等の新商品を開発することで、せんの生産性・経済性を高め、せん文化の保存・継承・担い手確保に資する。



## 対馬市

**【役割】**

- プロジェクトの企画及び各主体との連絡調整
- プロジェクト会議の開催(会議資料作成含む)
- 予算調整(9月補正:財源はふるさと納税による充当?)
- コスト計算
- テストマーケティングにおける調査設計、調査結果の集計及び分析

協力依頼

## 東京農業大学

**【役割】**

- せんだんご特性解明、速醸技術開発等研究(デンプン-繊維会合体形成メカニズム等)
- 酵素(セルラーゼ)を用いた速醸技術、及び省力化生産工程指導
- 新商品開発及び出口戦略における助言
- 実証評価

技術指導

## (一財) 対馬市農業振興公社

**【役割】**

- せんだんご生産(速醸実証)
- 災害時の長期保存食等新商品開発
- テストマーケティング(そば道場での試食提供・お土産物等試験販売による消費者アンケート調査実施)

**【経費】**

- 公社パート人件費
- 謝礼(東農大現地指導:2名×3回)
- 費用弁償(東農大:2名×3回)
- 需要費(イモ等材料費、酵素等)
- 備品購入(速醸にかかる機器)

指導依頼

業務委託

【プロジェクト会議】	【スケジュール】
・東京農業大学	・6月 内部協議
(内野昌孝教授・岡大貴助教)	・7月18日 東農大、市長訪問(高野学長、内野教授他)
・(一財)対馬市農業振興公社	・9月 第1回プロジェクト会議及び現地指導(実証地選定・準備)
・対馬市農林・しいたけ課	・11月 第2回会議及び現地指導(速醸生産開始)
・対馬市しまの力創生課 他	・12月 第3回会議及び現地指導(生産物確認・工程指導等)
	・1月 第3回会議及び現地指導(実証評価・コスト計算等)
	・2~3月 次年度への検討

(雇用機会拡充事業補助金を活用した本生産等)

### 【速醸工程】

